

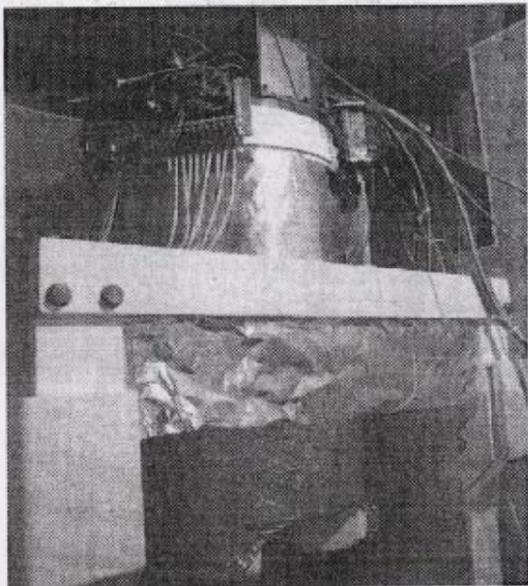
ヘリウム循環装置

新領域技術研究所

新領域技術研究所(千葉県柏市、武田栄吉社長、04・7134・5913)の「ヘリウム循環装置」写真が初受注を獲得した。初号機は名古屋大学医学部に納入する。開発者で実質的な創業者の武田常広東京大学大学院教授は「会社を設立して7年。ようやく黒字化にこぎつけた」と感慨深げだ。同装置は、脳磁計の稼働に必要なヘリウムを脳磁計内に

ファイル
いい話

脳磁計稼働コスト大幅低減



循環させる装置。ヘリウムを補充せずに済み、稼働コストの大幅な低減につながる。価格は数千万円と高いが、ヘリウムの価格も年々上昇しているため「だいたい3年でもと循環させる装置。ヘリウムを補充せずに済み、稼働コストの大幅な低減につながる。価格は数千万円と高いが、ヘリウムの価格も年々上昇しているため「だいたい3年でもと

がとれる」(武田教授)。地球上のヘリウムは減少しつつあり、今のところ代替材料もない。一方で脳磁計の用途は神経疾患の診断などに広がっているという。装置の潜在的な市場は大きい。「3年後には株式を公開したい」という武田教授。出資してくれた親族や友人に報いたいと考えている。(千葉)